

平成 26 年度 IMES コンソーシアム
事業実施結果

平成 27 年 7 月 16 日

規約第 43 条 に基づき、以下のとおり事業実施結果を報告します。

1. 広報活動

IMES の普及、発展を目指して以下の広報活動を実施した。

1.1 ホームページの運営

IMES コンソーシアムの日々の活動、シンポジウムや講習会（セミナー）等の開催案内、会員企業及び会員相互間の情報交換、IMES システム導入事例紹介、IMES 技術仕様（IS-QZSS）に対する意見具申の取り纏め、IMES 利用議定書の発行・改定・維持、IMES 利用ガイドラインの作成・改定・維持等の紹介等、IMES 普及・発展のための様々な情報提供・情報交換のため、ホームページを引き続き運営した。

なお、2015 年 5 月 28 日、ホームページを全面的にリニューアルした。
(<http://imesconsortium.org/>)

1.2 シンポジウム等の開催

IMES の普及、発展のために IMES コンソーシアム主催のシンポジウム、ワークショップや講習会等を開催する。また、関連学会との連携によるシンポジウム等の開催を目指したが、準備不足、資金不足により、開催できなかった。

1.3 実証実験の実施と実施場所の維持・提供

IMES コンソーシアムに参加する会員の企業に対して、以下の実証実験実施の機会や実施場所を維持し、実施提供を IMES コンソーシアムが斡旋した。

(1) 二子玉川ライズショッピングセンター（世田谷区）との連携

JAXA オープンラボで着手した「広告連動型プラットフォーム開発」については、平成 25 年 3 月末で終了したが、引き続き、「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム（CCC）」活動と連携して、会員による実験場所として提供した。

(2) JR 鉄道博物館（大宮市）との連携

JR グループが鉄道博物館で実施した JAXA オープンラボ活動と連携して、駅等の広範囲な公共地域における IMES 導入事例を会員に紹介した。

(3) 池内ビル（札幌市）との連携

池内ビルと連携して、IMES の普及促進を図るために会員等に紹介した。

(4)その他

福井大学附属病院において、IMES 送信機 935 台が設置され、昨年より運用が始まっている。会員の希望により、現地での検証実験を大学と調整することは可能である。

1.4 広報・普及用ツールの開発

(1) 広報・普及用ツールの開発

会員の提案等に基づき、引き続き IMES の普及・発展に必要なツールの開発を行い、会員がいつでも利用できるよう整備した。

1.5 IMES 関連技術ドキュメントの作成

(1) IMES 定義書の作成

本書は、次のことがらを目的として、米国から使用を許諾された PRN コードを用いて実施する IMES の運用・利用形態を規定するものである。2015 年 7 月 3 日、本文書改定のために、ワーキンググループを立ち上げ、検討を着手した。

(2) IMES 運用ガイドライン

運用定義書に基づき、IMES システム運用に関する詳細なガイドラインを作成する。このため、2015 年 7 月 3 日、ワーキンググループを立ち上げ、検討を開始した。

なお同日、以下のサブ・ワーキンググループを立ち上げた。

- ① 技術サブ・ワーキンググループ：IMES 定義書の改定
- ② 運用サブ・ワーキンググループ：IMES 運用ガイドラインの作成
- ③ 実証実験サブ・ワーキンググループ：実証実験計画の企画・実施

1.6 White Paper の作成、公表

IMES 技術の特徴や、IMES の普及状況、IMES コンソーシアム活動動向等をまとめた文書を、年度ごとに作成、公表する。このため、作成ワーキンググループを組織する。

本件は、実施できなかった。

1.7 教育普及活動の実施

国内外で開催される展示会、学会等の機会を利用して、IMES コンソーシアム及びコンソーシアム参加企業との連携による参加者を募集して、以下に協力した。

(1) ワイヤレステクノロジーパーク 2014

開催期間： 5 月 28 日～30 日

開催場所： 東京ビッグサイト

(2) ロケーションビジネスジャパン 2014

開催期間： 6 月 11 日～13 日

開催場所： 幕張メッセ

(3) G 空間 EXPO 2014

開催時期： 11 月 13 日～15 日

開催場所： 日本科学未来館（お台場）

1.8 他団体等との連携

以下の団体との連携を推進した。

- ① 測位航法学会
- ② 一般財団法人 衛星測位利用推進センター
- ③ クリエイティブ・シティー・コンソーシアム位置情報ワーキンググループ
- ④ 準天頂衛星システム株式会社

2. IMES 仕様の標準化に関する提言

必要に応じて、IS-QZSS で規定されている「IMES 仕様」に関する変更提案をコンソーシアムの総意として意見集約し、提言として纏める。また、IMES 送信機管理要領に関する意見書を纏め、JAXA に提出する。

今年度の提言は、無かった。

3. IMES 利用・設置ガイドラインの作成

位置情報サービス提供者（サービスプロバイダ）が基本的に守るべきガイドラインを作成する。また、IMES インフラを設置する機関・組織等が、「PRN 番号」を有効利用するための IMES 送信機設置基準等を定め、また IMES 送信機の標準的な設置方法等、設置ガイドラインを作成する。併せて、これら利用及び設置に関するコンサルテーションも行う。これらガイドライン作成にあたっては、有志による作業グループを組織する。

ワーキンググループを立ち上げて、検討を開始した。

4. IMES の国際化のための取り組み

IMES を屋内測位の世界標準として普及させることを目指し、そのための活動を推進する。

特段の活動はなかった。

5. 東京オリンピックに向けた取り組み

2020 年東京オリンピックに向けて、準天頂衛星及び IMES によるシームレス測位システムの導入を、IMES コンソーシアムを中心とした連合体を組織して、関係省庁、並びに東京都に働きかけを行い、実現を目指す。

総務省、経済産業省、国都交通省、内閣府宇宙戦略室に働きかけを行ったが、具体的な取り組み着手には至らなかった。引き続き、働きかけを継続する。

以上